

令和3年度 沖縄県振興審議会 第6回総合部会 議事要旨

日時：令和3年11月19日(金) 14:00~16:24

場所：ホテルサンパレス球陽館 2階会議室

議事1 調査審議（計画の展望値）

- 展望値の離島人口、温室効果ガス排出量、県内総生産、域内自給率等の数値設定に係る質疑応答があった。
- 展望値の離島人口について、那覇だけが人口が増えれば県は発展しているということではなく、やはり離島振興が沖縄の最重要課題の1つでもある。小規模離島については、県全体で振興を考えていくべきではないか。
- 展望値の県内総生産に関連する観光収入の目標値について、名目値ではなく実質値で示したほうがよいのではないか。
- 展望値の域内自給率について、「県内で発生した需要」と限定して記載しているが、域外で発生した需要を県内で生産する場合もあるので、記載内容を検討する必要がある。

議事2 総合部会意見への対応方針について

- 跡地利用について、脱炭素都市、または社会の実現に向けた再生可能エネルギーによる都市基盤形成といった内容を国家プロジェクトの導入として加筆してはどうか。
- 跡地利用について、「返還された」の部分を「返還が決定した」または「返還が決定している」という文言に修正し、返還前に調査ができることを示せるような文言を追記してはどうか。
- 跡地利用について、何か物を作るというハードの部分からスマートシティのようなものに変化しているため、「駐留軍用地跡地における、脱炭素化プランを導入した事業数」を成果指標としてはどうか。
- 計画の展望値について、計画の前半に位置づけるのではなく、基本施策を講じることでの見通しとして理解しやすいよう、計画の後半に位置づけてはどうか。

- 展望値の見せ方について、コロナからの回復期と回復した後の目的地点、最終地点というふうに見せ方を2部構成にしたらどうか。

以上